



## 第7節 子どもにとって安心・安全なまちづくり

白杵市は豊かな自然や景観に恵まれ、石仏に代表される歴史的な遺産や当時の町割りそのままの町並みを残しており、これらを生かした居住環境の整備が必要です。近年、町並みを生かしながら、市内中心部での交通混雑の解消を図るため、都市計画道路の整備を行っています。周辺部では、大型店の進出により、交通の流れが変わってきています。

また、東日本大震災後、本市でも津波による被害を想定した、防災計画の策定や防災士の養成、市民の意識改革に取り組んでいます。さらに、子どもが犯罪等の被害にあわないような町づくりが課題です。

### (1) 子育てしやすい生活環境づくり

子どもや高齢者に配慮したユニバーサルデザインの視点に立った居住環境の形成を進めます。また豊かな自然を通して遊べる場や、市民から要望の多い子どもたちがのびのび遊べる良質な公園や広場づくりに取り組みます。

### (2) 子どもの安全を守るまちづくり（防災・事故・犯罪）

子どもが犯罪等の被害にあわないよう道路、公園等の公共施設では構造、設備、配置について犯罪防止に配慮した環境設計を行います。また、犯罪や地震、津波等の自然災害に対しても自力で危険を回避できる力を育てます。





## (1) 子育てしやすい生活環境づくり

### <めざす姿>

- ・海や山など自然豊かな居住環境の下で、子育て家庭にとって、ゆとりがあり、安心して住める環境があります。
- ・市外の人でも、白杵に来れば、歴史・文化、自然に恵まれた環境で子育てができ、すくすくと育つ子どもの成長を見ることができるよう、移住のお手伝いをします。
- ・身近なところで地域活動が活発に行われ、地域と密着した暮らしができることに加え、子どもも大人も、互いに“あいさつ”ができる環境が整っていることで、通園、通学する際の子どもの負担や親の不安が軽減されます。
- ・子どもが、元気いっぱいに遊べるような公園があります。
- ・子育て家庭や妊娠中の方に対する配慮が行き届き、安心して外出ができるようになります。

### 具体的な取組

#### (1) 人にやさしいまちづくりの推進

- ①子育て世代や、高齢者に配慮したユニバーサルデザインの視点に立ち、居住環境の形成を進めるとともに、世帯構成やライフステージによる多様なニーズに対応した居住環境づくりに努めます。
- ②若い人が本市に住みたいとの動機づけの一つとして、魅力ある住宅や、空き家整備を推進します。
- ③歩道の整備や段差の解消、電柱の移設により、有効幅員を確保し、路面の平坦性を確保することで、歩行者の安全と快適な利用を目指します。
- ④妊産婦、乳幼児連れの人など全ての人が安心して外出できるよう道路、公園、公共交通機関、公的建物等において、段差解消のバリアフリー化を推進します。
- ⑤子育て世代が安心して外出できるよう、公共施設においてはトイレのベビーシート設置や、授乳室の設置を推進します。

#### (2) 公園整備の推進

- ①小さな子どもでも、安心して遊べる地域の拠点となる公園を整備します。
  - ・白杵市総合公園では、ボール遊びや草すべりができる芝生広場の整備、こども広場に設置している遊具の整備に取り組みます。
  - ・野津地域の野津吉四六ランドでは複合遊具の周辺のリニューアルに取り組みます。
- ②公園の維持管理に努め、既存の遊具等の公園施設は計画的に整備を実施し、安全で魅力ある公園づくりに取り組みます。
  - ・都市計画公園の遊具については長寿命化計画に基づき、古くなったものや劣化



の著しい遊具から、随時整備します。

③民間開発には指導や助言を行い、子どもから高齢者までが身近に憩える空間としての良質な公園や広場づくりに努めます。

### (3) お互いに支え合う地域づくりの推進

①地域振興協議会において登下校の交通安全見守りなど、子どもの安全支援や子育て支援を行います。

・地域振興協議会では、地域のつながりを絶やさず、子育ての先輩として面倒を見たり、相談に乗ったりして子育て世代を支えています。

## 【今後整備が進む予定の臼杵市総合公園と吉四六ランド】



～臼杵市総合公園～

- ①テニスコート駐車場とリーフデわんぱーくの間を芝生広場の整備
- ②子供広場の遊具リニューアル



～野津吉四六ランド～

- ①池の奥の芝地に幼児向け遊具を設置  
(ふれあい広場)



## (2) 子どもの安全を守るまちづくり（防災・事故・犯罪）

### <めざす姿>

- ・子どもが犯罪等の被害にあわないようなまちづくりができています。
- ・子どもを取り巻く有害な社会環境を浄化し、子どもを非行から守ります。
- ・悩みを抱える子どもや親の気持ちに寄り添い、問題解決まで継続的な支援を行います。
- ・地域で、地震・津波・風水害といった災害対策に取り組み、地域の子どもの命は地域が守ることができます。
- ・市民一人ひとりの交通安全意識や防犯意識が高まり、地域ぐるみで、安心して暮らすことのできる地域社会になります。

### 具体的な取組

#### (1) 子どもを犯罪や有害な環境から守るまちづくりの推進

- ①子どもが犯罪等の被害にあわないようなまちづくりを進めるために、通学路や公園等における防犯灯、緊急通報装置等の整備を関係諸団体と連携し推進します。
- ②侵入による犯罪の防止を図るため、関係機関・団体と連携して防犯性能の高い防犯機器の普及促進に努めます。
- ③不審者情報を関係機関へ周知徹底するような体制を整備します。
- ④外部教育力の活用や、情報モラル講演会を各小中学校で開催することによって、ネット犯罪から身を守る取り組みを推進します。
- ⑤小中学校や幼稚園・保育所（園）、認定こども園において交通安全教室を行い、交通安全意識を高めます。
- ⑥家庭や教育・保育の場で、事の善悪やモラルの教育を進め、被害者にも加害者にもならない人間の育成を推進します。

#### (2) 子どもを災害から守るまちづくりの推進

- ①小中学校や幼稚園・保育所（園）、認定こども園、放課後児童クラブ等において、防災意識を高め安全確保行動がとれるよう、防火訓練や防災訓練を促進します。
- ②自分の身は自分で守るとの意識が育つよう、広報啓発活動を積極的に展開します。
- ③全学校で避難訓練計画を策定し、各校の地域事情に応じた計画的な防災教育を進めます。特に、地震・津波対策に関しては、白杵小学校が作成した「防災ノート」を活用し、各校の地域性に配慮した防災教育を充実させます。

#### 【備えあれば憂いなし】

・その時あなたはどうしますか？

具体的で実行可能な準備で子ども達を守らなければなりません！



佐志生地区  
防災訓練の様子